

大正二年九月五日發行

婦人と子ども

第十三卷
第九號

フレール會

第十三卷第九號目次

胎教 下田次郎

幼稚園問題に關して日田權一君に答ふ(二)

横山榮次

英文學にあらはれたる子供(九)

岡田みつ

恐ろしき疫癘 石塚保吉

手工應用玩具の造り方 藤五代策

第二十回京阪神聯合保育會提出遊戯歌曲

附錄

美學講話(第八回) 菅原教造

本誌定價

一冊郵税共金拾壹錢 六冊前金郵税共六拾錢
拾二冊同金壹圓貳拾錢 郵券代用一割増

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ
込み下さい。直に御送本致します。(振替口座東京一七二二六
六番)

本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

(庶務上保姆紹介に關する件を含む)の御手紙は
東京市小石川區久堅町七十四番地フレイベル會事
務所宛

會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、
雨森劍宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下千駄
谷八七八倉橋惣三宛

大正二年九月五日發行
大正二年九月四日印刷

編輯兼發行者 東京府豊多摩郡千駄谷町大字千駄谷八七八
倉橋惣三

印刷者 東京市本所區番場町四番地 登

印刷所 東京市本所區番場町四番地 井

發行所 東京市小石川區久堅町七十四番地
フレイベル會

婦人と子ども

第十三卷 第九號

胎 教

東京女子高等師範學校教授

下 田 次 郎

教育といへば、生れてから後に行ふ事としてある。家庭教育並に學校教育の善し惡しによつて立派な人が出來たり、或は出來そこなつたりする事は勿論である。然し、如何に教育が善くても、教育せられる人の素質がわるくては立派なものにする事は出來ない。即ち立派に生みつけるといふ事は、教育に先立つて大切な事となつて來る。

立派な素質の子供を生むには、父母の心身の素質が善いといふ事が大切な條件である。もし父母に身體又は精神に惡い遺傳をもつて居るものがありとすれば、子供にそれが傳はるから、やはり生れながらにして子供はわるいわけである。即ち

結婚するに當つて、夫たり妻たるもの、選擇に注意せねばならぬ。今日人種改良問題と云ふものが喧しくなつて來て居るのも、やはり善い子孫を生みつけんが爲めである。配偶者の選擇をつゝしんで、素質の善い者同志結婚したとして、次に起る問題は、即妊娠してから、その胎兒をよく育てるといふ事である。これには妊婦の身體の衛生に注意しなくてはならぬ。それで妊婦の養生といふのは、随分世間でも大切なものと見られ、それについて書かれたものも少くないが、その精神の養生といふ事は、割合に世間でこれに注意して居らぬやうである。處が、實際の場合について見ると、妊

婦の精神状態は、胎児の發生に大なる影響を及ぼすものである。

胎児の始めは、一つの成熟した卵である。それが生れる時には、凡そ八百目位になるのである。僅二百八十日の間に、凡そ五百四十萬倍程の重さとなる。(中には九億餘萬倍とする學者もある)生れて成人となるまでに、體重はよくて二十倍位しか増さない。而してその間二十年かゝるのである。以て如何に胎内の發育の速なるかを想像すべきである。身長についても、成熟した卵は、凡そ〇、二ミリメートルであるが、生れた時には、四百九十ミリメートルとなる。即ち身長は、二百八十日の間に、凡そ二千四百五十倍になるわけである。處が、成長した時の身長は、生れた時の凡そ三倍半に過ぎない。そしてその間に凡そ二十年を要して居る。此の方から見ても、胎内の發育が如何に速であるかといふ事がわかる。かゝる數量上の大變化は、また身體發達上の大變化を示すものであ

る。従つて、外から胎児に及ぼす影響は、些細な事でも、なか／＼大なるものがあるのである。

身體が精神に影響を及ぼす事は、誰れも知つて居る事である。病氣をすれば氣分が面白くない、健康であれば氣分が面白い、目がわるければ物がよく見えない、耳がわるければ聞えないなど、皆それである。その反對に精神もまた身體に影響するものである。而して、その影響の最甚だしいものは感情である。喜怒哀樂の情は、呼吸、血行、營養、分泌などの生理作用に影響するものである。大體より云へば、苦痛は身體にわるく影響し、愉快は身體によく影響する。うれしい時は、食慾もすゝみ、血行もよくなる、消化も、營養もよくなつて、手にも足にも力が出で、舉動も活潑になるが、悲しい時にはまるでその反對であるやうなものである。而して感情が、身體の機關の中で最影響するものは、胃でも腸でも肺でも心臓でもない、婦人にあつては、胎児を宿して居る機關である。此

事は乳房及び乳について見てもわかる。生殖機關と乳房とは、子供を内と外で養ふだけの違ひで、また非常に密接な關係をもつて居るものである。それ故外にあらはれて居る乳房及び乳が、如何に感情によつて影響せられて居るかを見れば、生殖機關が感情によつて影響せられる事も推量せらるゝのである。乳は、精神を安靜にして居ないと出るものでない。驚き悲しみによつて、分量が少くなつたり、或は出なくなつたり、または、その質を變じて、乳兒を病氣に當り、甚だしきに至つては、死に至らしむる事さへある。人間ばかりでない、牛でもさうである。乳牛をびつくりさせたりすると、やはり乳の分量や質に影響するものである。乳は外に出て居るまでであるが、身中にある生殖機關も同じく感情によつて、種々の影響を受けるものである。たとへば、臨産間近に吃驚した爲めに、流産をしたり、或は死産をしたりする事もある。

それで、胎兒を健康に發育せしめやうと思へば、妊婦の精神を常に安靜ならしめ、心配や、悲しみのないやうに、喜びと雖も、あまりはげしき感情を起させないやうにする事が必要である。それで妊婦本人もその心掛けて精神を安靜に持つやうに努め、周圍の者、殊に夫、舅、姑、小姑などもよく注意して、妊婦をいたはり、心配をしないやうにし、安心して、所謂大船に乗つたやうな心地であらしめなければならぬ。また妊娠中は、感情を激動させるやうなものを見せたり、聞かせたりしてはならぬ。芝居、寄居、活動寫眞などでも感情を激動させるやうなものを見てはいけない。その他珍奇な見せ物なども避けるやうにしなければならぬ。また讀む物でも、精神を高尚純潔ならしむるやうなものを適度に讀む事は望ましいが、性質のよくない劣情を發するやうな小説などは避くべきである。また、なるべく美しい天然に接しその感化を受ける事ものぞましい事である。そして、

周囲はなるべく平和にして、あまりやかましい雑踏するやうな場所へは出ない方がよいのである。

其他これに準じて、妊婦の精神生活は、平和に、高尚に、かつ純潔ならしむれば、その身體に及ぼす影響の善良なるのみならず、妊婦の身體を通じて、また胎兒の發育にもよい影響を及ぼすものである。

胎教については、自分は、從來その必要なる事

幼稚園の問題に關して日田權一君に答ふ (續き)

東京女子高等師範學校教授 榎山 榮次

三、共同作業の意義に就きて

日田君は余の所謂共同作業に就きて疑念を起されそれに就て手強く質問せられてをる。又質問と同時に批評をも試みられてをる。余の共同作業と云ふのは廣い意味に於て使用致してをるのである。即ち四五人を一組として爲さしむる共同の仕

を感じ、いつかは之をしらべて見やうと思つて居たが、多少その材料を得たから、此間、これをまとめて「胎教」といふ小さな本を書いて見た次第である。

どうか、世間でも、教育に注意する如く胎教に注意して、教育をすべき子供の資質をよくする事につとめるやうにしたいものである。

事でも四十人内外を一組とする共同の仕事でも又は全園を一團として爲さしむる共同の仕事でも凡て之を包含せしめたのである。家庭の眞似を爲さんとする保育法に賛成しないからと云うて四五人を一組とする共同作業を採らざるものであると推定なさるにも及ぶまいと思ふ。余の作業と稱して

をるのはケルシエンスタイルなどの意味してをるよりは更に廣いのであつて共同の意識のもとに活動する凡ての仕事の意味してをるのである。共同精神と云へば如何にも八釜敷且つ六敷聞えるかも知れないが、みんなと一緒に仕事をするのである。銘々勝手に活動するので無いと云ふ考を多少なりとも持たしめたならばそれが即ち共同精神の涵養と成るであらうと思ふ。「幼兒をして仕事の全體を了解せしめ且つ各自が其の如何なる部分を爲しつゝあるかを知らしむるとは極めて困難なることである」と云うて余が提案を非難せられてをるけれども余はそんなに六敷くは考へてをらぬのである。共同精神と云へば直に了解せしむるとか知らしむるとか云ふやうに解釋せらるゝのは何だか學校の仕事と同様に幼稚園の仕事考へてをられるではあるまいかと掛念せらるゝのである。一人の子供を一人の子守が世話をするのを「ラージスケール」で世話するのが幼稚園の仕事であるかの

様に思ふのは甚しき誤であると思はねばならぬ。「幼稚園の子供は三三五五組を爲して遊んでをるのが通例である。唱歌など唱うて表情運戯や進行遊戯などする時は一組全體三十人乃至四十人位出來ないことはないが、かゝることは眞の共同作業とは多少異つたものであらう。若し共同作業が右の程度の如きものとせば今日の幼稚園では大抵してゐない所はあるまいと思ふ」と云はれをるが余の共同作業説は何もさう新奇の案ではない。形の上から見たならば今の幼稚園には共同作業が大抵行はれてをると云うて宜しからう。併しながら保育の任に當てをる人又は日田君の如く幼稚園を管理してをらるゝ人の頭に之を以て保育の主義とするのが無かつたならばどうであるか。共同精神涵養の工夫はとも行はるゝもので無からうと思ふ。共同作業と云ふことが幼稚園の主要なる仕事である以上は如何にそれを指導すべきかと云ふことに就て大に工夫を凝らさなければならぬ。三三五

五組をなして遊んでをるからそれで宜いとする釋には行かない。尙共同作業の意義に就ては拙者「小學校に於ける實際問題の理論的研究」に述べてあるから御閑の節參讀あらんことを希望する。

四、學校的保育法を不可なりと

したることに就きて

日田君は余の學校的保育法を不可なりとしたることに就ては不同意で無いやうだが、幼稚園こそ反て共同精神を養ふのに都合が宜いとしたることに就て不審を懷かれてをる。これはさう力を入れお尋ねであるからお答へをしなければならぬ。學校の仕事の大部分は申す迄もなく教授である。教授は一定の規律の下に規則正しく活動するものである。近來の教授主義としては生徒をして出来るだけ創作的に活動せしむるを主眼としてをるけれども、教授の本來の性質から云へば教師の指導が主なる働と成てをるのである。其點は幼稚

園の保姆が幼兒を保育するのと大に趣を異にしてをるのである。教授も見やうに依ては共同作業と考へることが出来るけれども共同作業の本色は自動的に活動する自由の作業に於て十分に表はるゝことは疑を容れざる所である。余の云ひ廻はしが拙であるため或は誤解を招いたかも知れないが余は此點を比較して幼稚園の方が寧ろ共同作業を行ふに適してをると云うただけのことである。何も學校では少しも「共同精神が養へぬ」と云う趣意でもなければ又共同作業に規律が有害だと云うた譯ではない。獨逸あたりでは近頃は小學校の一學年を幼稚園的に教育しようとしてをるほどだから幼稚園の方から學校の眞似をするに及ぶまいと云ふことは余の考へてをる所である。日田君は「小學校の一二學年を幼稚園の方へ付けて一團としたならばよからうと思つてをる」と云はれてをるが余は「付ける」とか「付けない」とか云ふことよりも其教育法の改良を希望するものである。

五、家庭的保育法を不可なりと

したるこに就きて

家庭的保育法を不可なりとしたることに就ても非難せられてをるが、是にも余の述べたることが多少誤解せられてをるやうに思はれる。余は家族ならざるものを家族のやうに考へ家庭ならざる所を家庭のやうに見做して掃除をさせたり片付けさせたりしてをる飯事のやうな不自然の保育法を非難したのである。我國には幸ひ斯様な幼稚園が無いやうだが伯林のベスタロッチャーフレーベルハウスの如き左様な弊があるやうに思うたからかく申したのである。

六、福岡縣八幡町中島氏よりの書面

此稿を認めつゝある間に福岡縣八幡町の中島仙次と云ふ人から面白き手紙を手にした。中島氏は如何なる人であるか自分の一向知らない方であるが子女の教育には頗熱心な人であるやうに思はれる。氏の來信に依れば同氏は八幡町にて工業に従

事し居られ男子二人女子一人を有して長男は十二才長女は六才三男は三才なるが本年四月より六才の長女を幼稚園に入れられたとのことである。入園以前には近所の學齡未滿なる女子二人と遊び居りて喧嘩をしたり云ひ合ひをしたり家内も持て餘したのであるが三人とも幼稚園に入つて以來は退園後の遊びは今までと一變し喧嘩争ひなど絶えてなく是は全く幼稚園の御蔭と家族が悦んでをる折柄幼稚園保姆より本年六月發行の「婦人と子供」を借りて余の講演を讀み其内共同心なる言葉を見て寔に愉快に感じ尙進んで三男を通園せしめんとしたが幼稚園の規則として入園が出来ないから其儘にしておいた。然るに姉の跡を追うて幼稚園に參りつたとが數回もあつて其結果三男は快活になり過ぎたから之を矯正するの道が無いかと云ふことを尋ねてよこされた。余は前號に於て日田君が「我國の子供を持つ親達が一般に幼稚園教育の積極的價値を了解する程に進んで居るであらうか、假に

「ルーシー」は命令いみづけられた通りに、大事を取つて歩いて来て、池を瞰くと、金色の鍬くわとも見えるものが、水の中をツーク行くのであつた。之は河蛇といふものだ。「トム」が救へたので、蛇でも泳げるものかと「ルーシー」は感心しながら、その體のうね／＼する様を眺めた。「マギー」は次第／＼に近く寄つて来た。……「トム」が自分に見せやうともしないから、愉快な事はちつともないが、是非見るだけは見なければならぬので、「ルーシー」の近くまで来ると、「トム」は「マギー」の動作を氣が付きなから黙つて居て、愈々といふ時になつて、くるりと向き直つて、

ト「彼方あっちへ御出でマアさん！草の上にはあなたの來る席はない。誰も來いつて言ひもしないのに」と言はれて、「マギー」は憤りの餘りに小さい腕を精一杯突き出して人形のやうな「ルーシー」を牛の踏み躪ヒつた泥の中へ、押し落して仕舞つた。「トム」もさすがに堪忍袋の紐が切れて、「マギー」の

腕をピッシやり二つ敲いて、急ぎ走せてメン／＼泣いてゐる「ルーシー」を抱き起した。「マギー」は二三間彼方の樹の根方まで退いて、悔む氣色もなく見てゐた。常ならば先方むかひ見すな事をするが早いか、後悔するのに、今日は「トム」と「ルーシー」の仕打しが染み／＼悪にくくて、二人を苦あたり、人を困らせたりするのが快く思はれた。氣の毒の事何ぞちつともありはしない。いくら自分が悪わるかつたと思つたつて、兄さんは、容易に勘辨して呉れる事ではないからなど、考へた。

「トム」は「ルーシー」を連れ去りながら、力を入れて大きな聲で「マギさん僕は母かあさんに言ひますから」と言つた。告げ口をするのは「トム」の癖ではないのだが、此際は「マギー」が非道い罰に逢ふのが、當然だと考へたからで。「ルーシー」は綺麗な衣服が汚れて、身體が濡れて、泥塗どろまみれで心地が悪いのに氣を取られて、何の故でかうなつたとも思ひもしなかつた。縦令よし、考へたところで解りも

しなかつたのだらう。自分が何をして「マギー」が腹を立つたのだから知らないが、「マギー」は不親切な厭な事だと唯思つたので、母親に言ひ付けぬやうになど、度量宏く「トム」に懇願してやるでもなく、シク／＼泣きながら「トム」と連れ立つて行くのであつた。して「マギー」は樹の根方に座つて二人の後を恐い／＼顔をして見送つて居た。

「トム」は臺所の入口へいつて「サリー（女中の名）マギーさんが、ルーさんを泥の中へ突き落したと母さんにいつて来て御くれ」といつた。「サリー」は口にパンを一欠片入れ、手にパン焼串を持つた儘言葉も出さず瞠若あつりとられて眺めて居たが、サ「まあ！ 如何どうして、そんな泥のある處へいらつしたのですか」と溢面を作りながら、身を屈かがめて汚れた「ルーシー」を検査した。

「トム」は此事の成行きを種々想像しては見たのだが、「サリー」の此言葉までは考が、敏活に廻らなかつたので、今言はれて始めて、その及ばす影

響を感付いて、「マギー」ばかりが罪人にはならぬと思つたから、「サリー」が事實を何とでも推量するに任せて、自分はそつと臺所の戸口を離れ去つた。

で、「サリー」は、前述のやうに、時を移さず客間の入口へ「ルーシー」を連れていつたのである。

アツ！ と聲を上げた後で「ブレット」伯母さん
は、

「あれまあ、入口の處へ立たせて御置き。油布オイルクロス

の外へ踏み出させては駄目だよ」と叫んだ。

「マギー」の母親は「ルーシー」の母親に對する責任があるので、衣服がどれ程悪くなつたかと、「ルーシー」の傍へ寄つて、

「何處の泥の中へ落ちたのですよ。」と云ふ。

サ「あの奥さま。マギーさんが御突き落しになつたのですと、トムさんがいらつして仰つてました。

必然きつと皆さん池へいらしつたのでせうよ。こんな泥は他所には御座いませんもの」と「サリー」が

言ふ。

「ブ」それね、今言つて居た所でせう。あなたとこの子達ですよ！ あの子達はどうかなるか末が分らない」と「ブレット」伯母さんは豫言めいた事を哀つぽく言ふ。

「マギー」の母親は、真から情ないと思つて、黙然として居た。而して、例の通り心の中では、子供がかう厄介を掛けるやうな事をするのは、必然、自分が何の悪い事をした報だと、世間では思ふだらうと考へて居た。「ブレット」伯母さんは、「サリ」に、泥の始末を付けるのに他を汚さぬやうに、注意してなど、口喧しく指圖をしてゐた。其内に夕食の時刻になつたのだが、悪い子供二人は、不面目にも臺所で食べよとの事であつた。「マギー」の母親は、二人とも臺所に居る事と思ひ込んで、小言を云ひに出掛けたところ、何方も居ないで、やうく尋ね當てれば、「トム」が唯一人強意地の、どうともなれといふ氣色して、禽小屋の圍

ひに寄り掛つて、七面鳥を怒らせやうと、糸を圍の中へ垂らしてゐた。

母「トムや、お前は眞に不良い子だ！ マギーは何

處に居るの」と母親は情けなさうな聲でいふ。

ト「僕知りません」と「トム」は答へた。「マギー」を

充分懲らしてやりたひと思ひ込んだ初一念も、よ

く考へて見たらば、自分の行爲が其と共に、非難

せられる事に是非ともなるので、いつの間にか薄

らいで居た。

母「だつて、お前何處へあの子を置いて來たのさ」

と母は、四方を見廻しながら言ふ。

ト「池の所の樹の下に座つて居ました。」と言ひな

がら、「トム」は糸と七面鳥ばかりに、氣を取られ

て居る風をする。

母「いつて直ぐ連れていらつしやい。眞實に不良な

子です。何だつて池へ行かうなと思つたの

あんなに泥のある處へ妹を連れていつてサ。あ

の子は何か悪戯の材料さへあれば、必然するの

をお前も知つて居る癖に。」

「トム」は何か不都合があると、其不都合を何とかかうとかして、「マギー」に押被せるのがこの母の癖であつた。だが、「マギー」が一人で池の邊に居ると思つたらば、急に例の心配が始まつて、母は、娘の姿を見て安心しやうと、急いで馬乗り臺へ登つて見た。「トム」は「マギー」の居る方へと歩き出したが、急ぐ體には見えなかつた。

母「うちの子は水に崇りさうな子供達だから」と四邊に聞いてくれる人の無いのにも心付かず聲高に「何日かきつと溺死して擔ぎ込まれるだらう。あゝ！ 河がもつと遠くだと宜いに」と言つてゐた。「マギー」の姿らしいものも見えず、「トム」がやがて一人で戻つて來たので、今迄は空に漂つてゐた心配が、俄に心の中一杯に蔓延つて、母親は足を早めて「トム」を迎へた。

ト「ママさんは、池の邊に何處にも居りませんよ。母さん。何處かへ行つて終つたのでせう」とト

ム」は言つた。其から大心配で、「マギー」を搜索するやら、池の中には大丈夫居ないと母親を説得するやら、ブ伯母さんは、あの子は生き延びればもつとひどい死に方をするだらう。末は知れたものでないといふ、ブ伯父さんは夕食の時刻が後れ、人の往來が烈しくて禽が驚駭したりするなどの異常の光景に、氣が顛動してしまつて、「マギー」を搜索するのだとて、草取鋤を持出したり、禽小屋に居さうだとて、其所の鍵を手を伸して取るやらしてゐる程に、「トム」が「マギー」は自宅へ歸つたのだとふと言ひ出した。(此のやうな場合に、自分だつたらさうすると説明する必要もないと思つて)母親は、其を頼りに、少し安堵する體であつた。母「どうぞ馬車を用意をして、宅まで私を送らせて下さらないか。あの子が途中に居るかも知れないし、「ルーシー」はその體では歩かせるわけに行きませんから」といつた。罪なくて犠牲にせられた「ルーシー」はシヨールに包まつて素足で、

長椅子の上に座つて居た。

ブ伯母さんも、早く自宅を片付けて、落付きた
いと思ふ矢先なので、すぐ同意した。「マギー」の
母は、やがて馬軍の中から氣遣しさうに目の達く
限り遠くを望んでは、萬一「マギー」の行方が知れ
なかつたら、父親が何と言ふだらうと其のみを考
へて居る。

「マギー」の計畫は、「トム」が考へたのよりも大
袈裟で、「トム」と「ルシー」が歩み去つた後に、徐
ろに意を決したのは、自宅へ歸ろう位の事ではなく
出奔して「ジブシー」(一派の無頼民で盜賊と占
稱錮等をして生活する徒)の處へ
行つて、兄さんと二度と顔を合はさないやうにし
やうといふのであつた。ジブシーの處へといふの
は、「マギー」の俄の思ひ付きではないので、自分
が始終ジブシーに似て居ると言はれるので、屈辱
を受けた時だの、世の中が思ふやうに行かぬ場合
には、ジブシーの處へ行くより他に方法はないと

いつも感じた。して行きさへすれば、ジブシーは
必ず歓迎してくれて、自分の博識を敬つて呉れる
事とマギーは思つて居た。「トム」にこの事を話し
て、いざ顔を褐色に染めて一所に出奔しやうと勸
めた事もあつたが、「トム」は、一言の下に撥付け
て、ジブシーは盜賊で、ろく／＼食物もなく、只
驢馬だけを連れてゐるものだといつた。

今日のこの腦みは、只もうジブシーに行くより
他に免れる途はないと思ひ込んで、マギーは生涯
の一大事との覺悟で、樹の根元から立ち上つた。
眞直に走つて行けば、「ダンロー、コンモン」とい
ふ廣地へ出る、其處へさへ行けば、ジブシーが居
るから、其仲間へ入つて、「トム」だの親類だの自
分の缺點を探す人から、隠れて終うと、思ひ／＼
マギーは走り續けた。併し父の事が氣に掛るので
「よし／＼、ジブシーの子供に、密かに父の許へ、
手紙を持たせてやつて、何處に居るとも知らせず
只無事に日を送つて居るから安心して下さい。父

上の事は懐かしく思つてゐますと傳へてもらふ」と取り定めた。

「マギー」は走り走つて、野をいくつか抜けて、やつとその先の道へ出ると、半圓の黒テントが見えて、其處から炊事の煙が立ち上り、ジブシーの妻とも見ゆる女が、テントの前に居た。「マギー」は想像したのと違つて、ジブシーが往來に陣を取つて居るのが案外で、實際に来て見れば、なんだか詰らないやうに思つた。ジブシーの女の方では「マギー」に目を止めて、赤ン坊を抱いたまゝ、そろ／＼歩み寄つて來た。「マギー」が怖／＼見ると「ブレット」伯母さんや、皆が、自分をジブシーと呼ぶのも道理だと思ふ程、此の女の黒目や、黒い毛髪が、鏡で見る自分の、によく似て居た。ジ「御嬢さん、何處へ御出になられますの」と、ジブシー女は媚びるやうに恭しく言葉を掛けた。豫て心に畫いてゐた通りなので、「マギー」は嬉しくて堪らず、ジブシーは一目で自分の御嬢さん

であるのが解つて丁寧に取り扱ふのだと思つた。

「マ」もう之から先へは行かないの。あなたの處へ來たのですよ。」と「マギー」は夢の中で演習しておいた事を、實際の場になつて言つてゐるやうな氣がした。

ジ「まあ、其はよろしう御座いますね。では、いらつしやい。なんて可愛らしい御嬢さんでせう」と言つて、ジブシーは「マギー」の手を曳いてくれるので、「マギー」は心の中で御愛想の良い女だが此のやうに汚くないと可いと思つた。

テント内の焚火の周圍には、大勢人が居た。老婆が一人膝を抱へて坐つてゐて、時々鍋の中を焼串で突き廻すので、其度に厭な匂が立つた。ムシヤ／＼髪の子供が二人脇枕で寐をべつてゐると、背の高い娘が仰臥に仆れてゐる上には、穩順しうな驢馬が首を延べて居る。それを娘が調戲つて鼻を引掻いたり、草を食べさせたりしてゐた。夕日が、斜に此一群を照したところは、中々に美し

いと「マギー」は心に思ひながら、同じくは、此人達が、早く食事にすれば宜いにと願つた。而して今に、此人達に、顔や手を洗ふ事を教へ、書物を讀む様にしてやつたらさぞ愉快だろうと考へた。併し若い方の女が、老婆に對つて、何か聞き分けられない言語で饒舌り出したり、驢馬に草を與つてゐた娘が、起き上つて、挨拶もせずに自分を熟視して居るのは、氣持よくなかつた。やがて、老婆は「マギー」に對つて

「美しい御嬢さん。茲へいらしたのですつてね。さ、御掛けなさい。何處から御出たのですか」と言つた。全然御伽話にあるやうで、「マギー」は美しい御嬢さんと呼ばれて、好遇されるのが氣に入つて、坐に着きながら、

マ「自宅が不快だから出て來たの。私もジブシーになるの、而して、皆と一所に暮して、私種々な事を教へて上げてよ」

「御伶俐な御嬢さんね」と若い女は赤子を下ろし

て、這ひ廻らせながら、「マギー」の傍へ來て「美しい御召に帽ですこと」と言ひながら、「マギー」の帽子を脱がせて、其を眺めては、老婆と何か言つてゐた。背高の娘は、急遽に帽子を引奪つて後前に被つて、ニヤ／＼笑つてゐた。マギーは惜しうな風を爲まいと努めて、

マ「私、帽子なんか被りたくはない。あなたのやうな、赤いハンケチを巻いてゐた方が宜いワ。私の髪は、昨日迄長かつたのですよ。でも切つてしまつたの。今に直に伸るわね」と申譯らしくいつた。ジブシーは必然長い髪が好きなのだろうからジブシーに嫌はれまいとの一心で、マギーは空腹な事も忘れて、辯解した。

老「好い御嬢さんね！ 御金持で——御宅は立派なのでせう」と老婆がいふ。

マ「エ、宅は奇麗よ。而して河があつてね。よく其處へ魚釣りに行くの。でも時々自宅が厭になるの。宅から本を持つて來ると宜かつたのですが、

急いで来たものだから。でも本の中の事は何でも話せてよ。幾度もく讀んだから。面白いのよ。地理の事だつて話して上げられるわ。地理つて、此世界の事が書いてあるの。面白くて利益になりますよ。コロンブスの話を聞いた事あつて?」

「マギー」の眼は生き／＼と活氣を帯びて、頬には紅が射して、自分の氣では、ジブシーを教育しかけてゐる積りでゐる。ジブシーの方では、若い女が「マギー」に氣取られぬやうに、その衣袋から中身を持ち出してゐるのに注意を奪はれながら半はマギーの言種に呆れてゐる氣味であつた。コロンブスと聽いて、老婆は

「あなたの御宅のある處ですか」と尋ねた。

「マ」さうではないの」と哀れむやうに「コロンブスといふのは、偉い人で、ソレ世界を半分發見したので、鎖で繋がれて、非道い目に逢はされたの。うちの地理問答にありますよ。だけれど御

飯前には話し切れない……御飯が欲しいと」我にもあらず先生振りの口調から泣き聲に換はつた女「あれ御腹が減つて居るのでせう。御可哀さうに。何か冷肉でも上げませう。随分御歩きだつたのでせうにね。御宅は何處」と若い方のがいふ。

「マ」ドールコット、ミルツていつて遠い處。でも御父さんに私の居處を知らせては不可いよ。迎へに御出になるから。ジブシーの女王は何處に居るの」

女「エ、女王の處へいらつしやりたいの、御嬢さん」と若い女が言ふと、背の高い娘は、「マギー」を熟と視ては、ニヤ／＼笑つていかにも不行儀な子であつた。

「マ」イーエ、唯ね、若し不良な女王だつたら、其人が死んだ時に皆が喜ぶだろうと思つて。而して他の人を女王に選べるわね。若し私がなれば、良い女王になつて皆に親切にして上げてよ。」
老「それ、之を召し上げれ」と老婆は干乾びたバン

の一塊と、鹽豚の一片を出した。「マギー」は手にもせず、見ただけで、

「マ」有り難う、之でなくパンとバターと御茶と頂戴。鹽豚は、私嫌ひ」

老「御茶だの、バターだのと云つてもありません」と、老婆は、御機嫌を取るのも倦きたといふ風情で、不興顔をする。

マ「では、パンと糖蜜でもよいの」と「マギー」が言ふ。

老「糖蜜なんかありません」と老婆は腹立たし氣に言つて、老若の女同士、分らぬ言葉で頻りに對話してゐると、寐をべつてゐた子供が一人、パンと豚肉を引奪つて食べて終つた。「マギー」は心細くて、涙が出さうになつて來た。ジブシー達は自分の事なんか何とも思はぬらしいので、此處へ來た甲斐もなく思はれた。

やがて、男が二人戻つて來た、老年の方の男は、女共に大聲に小言を言ふと、女達も負けずに金切

聲で口返答をする。マギーに吠へかゝる黒犬を若

い方の男が呼び返して、其を擲る。「マギー」は、到底この仲間の女王になつて、益になる事を教へ

てやる事なんか出來ないと語つた。男共は「マギ

ー」の事を尋ねてゐるらしく、此方を見ては、何か言つて、「マギー」の衣袋から出た種々の品物を

手にして、其中の銀の指拔だけを取つて終ひ、そ

れから、さつさと肉と馬鈴薯のシチュウを食べ出した。「マギー」は、ジブシーといふものは、成程盜

賊に違ひない、「トム」が云つた通りだと思つた。

指拔は、惜しくはないから呉れといへば遣りもし

やうに、他人の物を斷りもなしに、我物にするやう

な盜人ぬすびとの中に居ると思ふと、氣味が悪く身體が慄

へるのを、老婆が見て取つて、再び丁寧な調子で、

老「此御嬢さんの上るものが何もないが、空腹いと

仰るのに、之でも切めて召し上つて御覽」とシ

チュウを皿に盛つて呉れた。先刻パンと鹽豚を厭だ

といつて怒られたので、「マギー」は又厭ともいひ

切れず、黙つて居るのを、若い方が、

女「御厭いや? 一口あが上つて御覧なさい」と勸める。

マ「イーエ、澤山。」と一生懸命の勇氣を出して、

態じこと鳩やかに「もう暗くなりさうだから、宅うちへ歸り

ます。又、こんど来る時、御菓子や何か籠かごに入れて

来て上げませう」と立ち上つた。

老「まあ、御待ちなさい。御送り申ますから、大

丈夫。御飯が濟むと馬に乗せて歸して上げます

よ」と老婆がいふ。

眞實ほんとではなからうと思ひながら、「マギール」がま

た坐まに着いて、待つて居ると、背高娘が驢馬ろばを曳

き出して準備をし出した。若い方の男が出て来て

「マギール」を馬に乗せ、若い女が「御帽子」といつて

被せてくれて「皆がよく世話をしてくれたと御宅

へいつて仰いね。い、御嬢お嬢さんと賞めたつてね」

と言ふ。

マ「エ、あり難う。いろ／＼御世話になりました。

あなた一所いっしょに来ると可いのにね」と「マギール」は

言つた。恐ろしい男と只二人行くよりも宜いし、

途中で殺されるとしても、人の多い方が宜いにと

思つて。

女「あなた私が一番好きです。でも私行かれませ

んの。とても追付いて歩かれないから」

若い男も同じ馬に「マギール」の後ろへと乗つて行

くらしいので、「マギール」は、世にも恐ろしい事だ

と思つたが、拒む勇氣もなくて、其儘入日の赤く

射す頃を、只二軒しか家のない小道を揺ゆられて行

く中に、嬉しい事には、その淋しい道も盡きて廣

い通りに乗合馬車まわしが通つてゐるのが見えた。では

ジブシーは眞實ほんとに宅うちへ連れていつて呉れるので、

此人は善人なのだろう。自分が此男と来るのを厭

がつて、氣の毒だつたと思ふ。次第ついで／＼に見覚え

のある路へ出て来たので、「マギール」は此男に話し

かけて御禮をいひ、自分の臆病おそらしかつた舉動を

取繕ととのらうと思つてゐる程ほどに、四ツ辻よつ辻で彼方あつちから馬

に乗つて来る人の姿が目に入つた。

マ「あれ〜御父さんが！御父さん、御父さん！」

と呼んだ。嬉しさが思ひ掛けなくて、「マギー」は泣き出した。父親の驚きは非常で、一體どうした事かと、馬を停めて訊ねる其間に、「マギー」は驢馬から滑り下りて、父の鎧に走り寄つた。ジブシーがマギーは道に迷つて自分達のテントに見えたから、送り届けに來たので、一日歩きまはつた揚句に、なか〜の骨折だといふので、父親は、五志^{シリシテ}をジブシーに遣つて返し、マギーを馬に乗せて家路に向つた。途中で自分に寄り縋つて泣いて居る娘に、

父「如何したのだ、エ？如何して一人で歩きまはつて迷子になつたのだ」と訊ねた。

マ「御父さん、私逃げたの。あんまり厭^{いや}だつたから兄さんが大變怒つて居るのですもの。辛抱が出

來なかつたの」

父「何だ！何だ！御父さんの處から逃げるなんて、不可^{いけ}ないよ。御前が居なくなつたら、御父さんは如何すると思ふ」

マ「もう〜逃げないわ、必然^{きつと}〜」

その晩、父親は嚴然^{きつぱり}と、家内の者へ、思ふ處を言ひ渡したと見え、「マギー」は母からも、「トム」からも、一言半句でもジブシーの處へ逃げた事に付いて、小言も嘲弄も聞かされなかつた。「マギー」は、常ならぬ此所置に、却て恐れをなして、あんまり自分の行が悪いので、皆が呆れて口にも出さぬのだろうか、と時には思つた。(終)

(これからトムとマギトが成人していよいよ此小説の本領に入るので茲では子供としてのトムとマギーの事に止めて置きます。)

恐ろしき疫痢

醫學士 石塚 保吉

疫痢といふのは、四五年前まで、東京にはあまりなかつた病氣である。四五年此のかた東京にはやつて今年などは盛に流行して居るやうである。

もとは名古屋九州の地方病であつて、一昨年の如きは非常に激烈な流行があつて、福岡縣だけでもその患者が四五千名にも及んだ事がある。

地方によつて名稱が違ふ。疫痢とは熊本の前で之れを學術名として世界に發表したのは福岡大學の伊東教授である、急症とは福岡地方の呼び名である。名古屋では颶風病(ハヤテ)と云ふて居る。東京では、疫痢ともいひ、又小兒の急性赤痢といふ人もある。とにかく非常に恐ろしい病氣で、小兒の病氣の中で最恐るべきものである。大多數を發病以後二十時間位の間に死亡する。

○食べ過ぎが基

病氣の原因は、多くの場合暴食である。年齢は幼稚園時代から小學校の始めに最も多い。即ち二三歳位から七八歳位までに最も多いそれも非常に丈

夫な生れてから醫者にかゝつた事のないといふやうな、肥え太つた小供に多い。かういふ小供は、家庭でも油斷して、無制限に食物を與へたりするからである。小供の方はわきまへがなし、母親の方でもつひゆるして、さまざまのものを喰べさせるからである。最近の例で見ても水蜜桃を一度に三つたべたとか、ばなを澤山たべたとか、さくらんぼを二つかみ一度にたべたとか、或は五もくずしをたべ過ぎたとかいふのが原因になる。洗腸をして見ると此等のものが消化せずに出て来る。最初の兆候は、突然の熱發である。夕方まで活潑に遊んで歸宅すると、急にねむさうになつたり、元氣がなくなつてたふれる。さわつて見ると熱がある。はかつて見ると四十度といふやうな有様である。尙ほげしい場合には、全身の痙攣が伴ふ、脈は弱いかまたは不同になる。熱がひどいので大抵はおどろくが中には、一向無頓着で、寝冷え位と思ふて平氣で居る人もある。又左程でなくとも

明朝まで待たうと云ふ人もある。前申す通り、一時を争ふ急病であるからさういふのは到底助かる見込はない。

どうして急にそんな病氣になるかといふに、普通、大腸の中に生息する大腸菌といふ微菌が、食過が元となつて、急に腸の中で繁殖して有毒のものとなつて、盛に毒素を吐きだすからである。そして多毒が食物と共に腸で吸収せられて、腦の方へまわつて脳膜炎と同じ様の兆候をあらはすのである。

應急の手あてとしては、灌腸器があれば灌腸をするがよい。次に下劑を用ゐる事が最肝要である。下劑の中でヒマシ油が一番よい、普通藥であるから少し位のみ過ぎてても害にはならない、小供には最よい。十瓦か十五瓦位飲ませると通じがつく、通じがつくとよほど快くなるのである。

此の病氣の勢は、非常な激烈なもので、助かるか助からないかは、醫者に見せる事の早いか遅い

かによつて定まる位のものであるから急に元氣がわるくなつて熱が出て來たなといふ場合には、直に醫者に見せるがよい。夜中で、醫者を起すのは氣の毒だなど、遠慮をすると、手おくれがして助からない。夜中でもなんでも可く手あてをする方は助かるものである。

此の病氣に對しての醫者の手あては（新らしい病氣であるから、醫者の中にでもよく知つて居る人もあるし知らない人もあるが）やはり下劑と洗腸の二つである。上の方から下劑をかけて毒物を拂はする、下の方から食鹽水を用ゐて腸を洗滌するのである。一時間でもこれを多くすればするほど病氣は快方に向ふ。往々此の療法を危ふむ人もあるが、殆ど下劑と洗腸で勝負はついでしまふのである。洗腸といつても五百瓦や千瓦の水ではだめである、それ位の量では、單に直腸大腸を洗滌する位のものに過ぎない。此病氣は小腸の中にあるのであるから、五千、六千乃至八千瓦位の多量

の水を用ゐて思ひきつた洗腸をしなくては効果が
ない。そして、一回だけではいけない、後から〜
と何回もつゞけてやらなくてはためである。黴菌
が猛烈に繁殖するから、決して一度で安心といふ
事は出来ない。下劑も後から〜と二日位はづ
けてのまなくてはいけない。三時間おき位に殆ど
徹夜の覺悟で洗はなくてはならぬ。つまり黴菌の
繁殖と競争するのである。洗腸の方が勝利を得れ
ば快復するし、敗北すれば死亡といふ事になるの
である。

さて、洗腸と下劑が首尾よく其効を奏して快方
に向ふとしても、其後が大切である。全快までに
は一月位を要する。下痢、血便がつゞく、しばらく
の間熱がある、此時期の養生が肝要である。此
間の養生が不十分であると必ず再發する。通常飢
餓療法をやるのである。最初二日位は番茶のさま
したのを飲ませ次におもゆを用ゐる。便の模様
によつて、おもゆの中に脱脂乳を五瓦か十瓦程入れ

て與へ、其次には二十瓦といふ風に漸次にすゝめ
てゆくのである。

飢餓療法といふのはなか〜容易の事ではない
今日まであまり行はれて居ないのと、小供にきゝ
わけのないのとで更に困難を加へるのである。し
かしこれが唯一の療法であるから之れを嚴守しな
ければ快復の見込みはたゝないのである。豫後の
養生に失敗した例は非常に多い。最初甚だ調子よ
く快方にむかふたのでつひ養生を怠つていけなく
なるといふやうな事になるのである。

この病氣を傳染病とする説と、傳染病でない
とする説とあるが、法律では傳染病として取扱つ
て居る。議論を別として大事を取つて所置した方
がまちがひがないのであるから、子供はなるべく
隔離して近づけぬやうにするがよい、又大便及び
大便に汚れたるものを凡て消毒薬を用ゐて消毒し
た方が安全である。

静に静に

(ニ調四拍子)

1	1	1	2	3	3	3	4	5	6	5	3	2. — 0
シ	ヅ	カ	ニ	ス	ル	ノ	ハ	オ	モ	シ	ロ	イ

5	6	5	3	5	6	5	3	2	1	3	2	1. — 0	
ハ	ー	ナ	モ	キ	ン	ギ	ヨ	モ	ミ	ナ	シ	ヅ	カ

第二十回京阪神三市聯合保育會提出遊嬉及歌曲

(神戸市保育會)

一、静にするのはおもしろい

花も金魚も皆しづか

二、おほきい子供もちさい子も

お口をつむれ目をつむれ

方法

右ノ歌ハ幼兒ヲシテ靜肅ナラシメントスル時ニ用ヒ遊戯ノ心持ニテ
 樂シク目ヲツムラシムルナリ。幼兒歌ニ連レテ目ヲツムレバ其後ハ
 静ニ曲ノミヲ奏ス

家庭教育
手工應用
玩具の作り方

藤 五代策譯

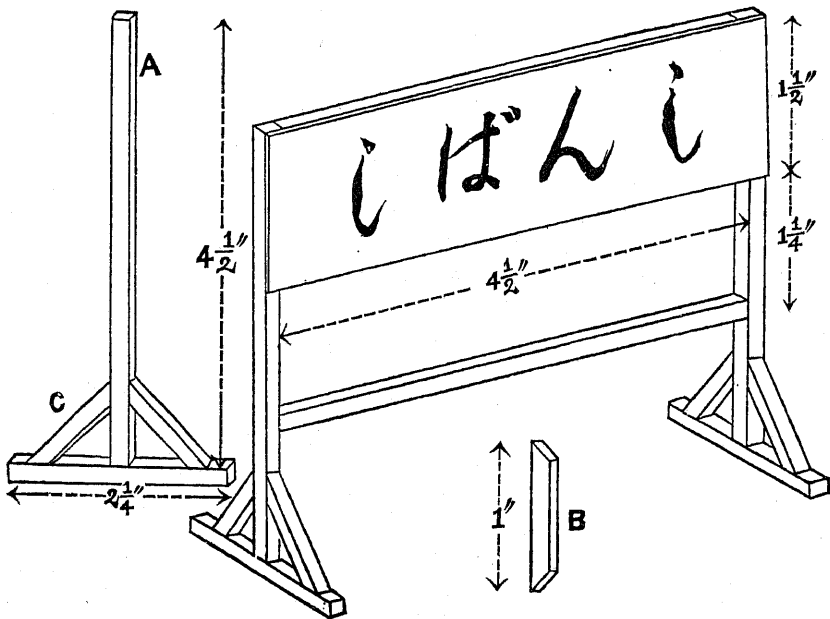
第二十九圖 看板(停車場の)

次の如き燐寸棒を作る。

長さ $1\frac{1}{2}$ のを五本。 $2\frac{1}{2}$ のを二本。 $1\frac{1}{2}$ のを四本。第一の兩側の柱から先きに作らねばならぬ。即ちA圖に示せる寸法のを二本取りて、之を附着する。次に $1\frac{1}{2}$ のを四本作り、其兩端をBの如く削りて、Cの位置に嵌めるのであるが、餘程うまく削らないとき、ちんと嵌らない。斯くして兩側の柱を作り、又臺木の下から柱に通して留針を叩き込んでも宜しい。

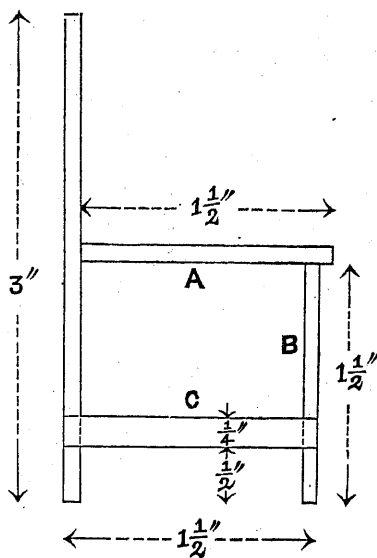
それが出来たら今度は三本の横木を附ける、即ち上の二本は $1\frac{1}{2}$ を隔て、之より上 $1\frac{1}{2}$ を隔て、下なる一本を付ける。

扨て次ぎは平板を長さ $4\frac{1}{2}$ 、幅 $1\frac{1}{4}$ に裁ちて、其裏面の四縁に膠を付けて圖の如く貼り付け、表面に墨又は鉛筆にて驛の名前を書くのである。又關節は一々留針で止める事。



第三十圖 ベンチ

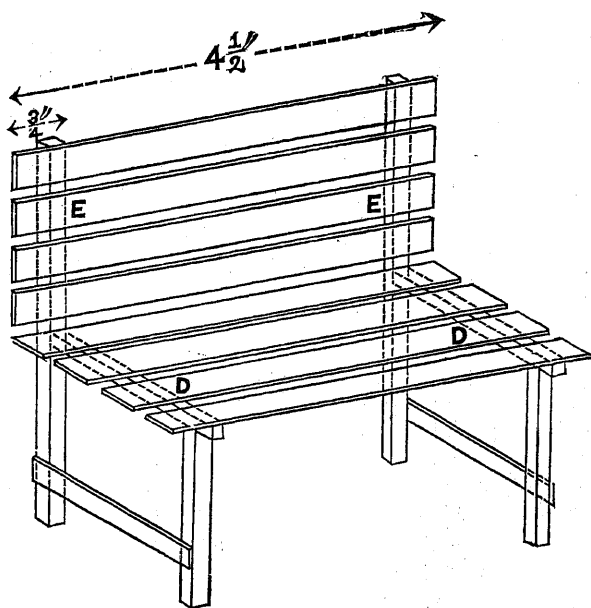
二側の脚になる部分は上部の側面圖によりて作る。先づ隣寸棒のものを二本切りて後脚となし



のを四本作りて前脚及び支へ木としてA Bの如く組み立てる。そこで前、後脚を固定させる爲めに平板、を長さ幅に裁ちたるものを二板作

りてCの如く兩脚に附着する。

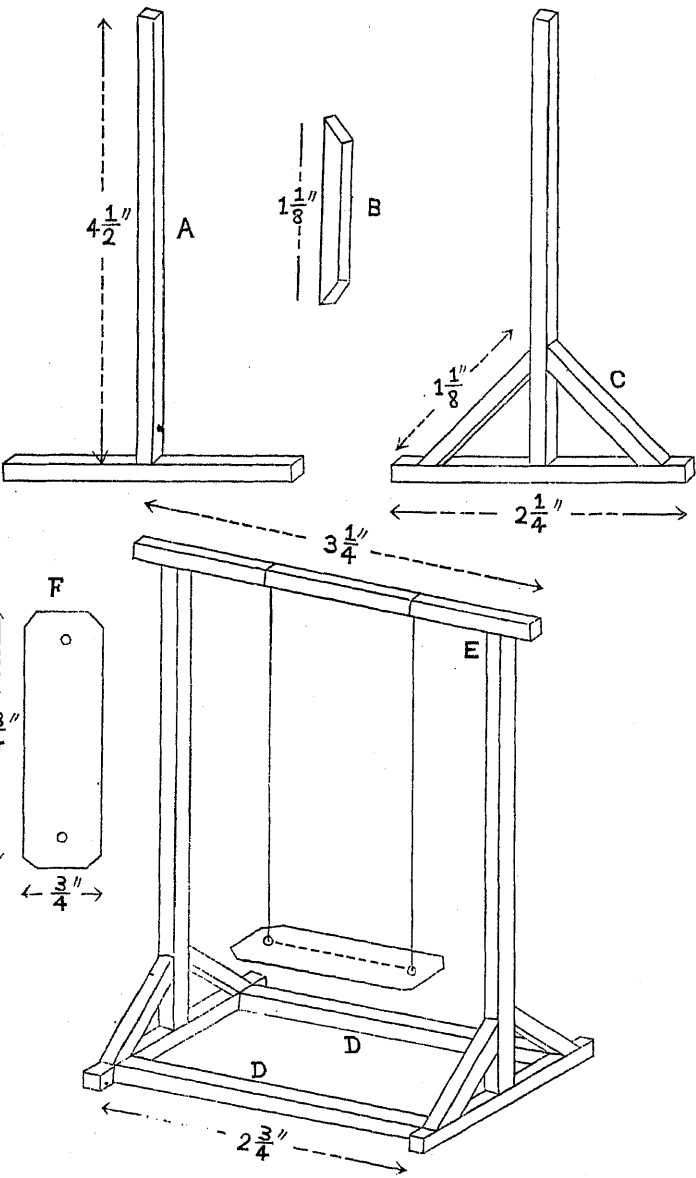
次に平板の長さ幅なるを八板裁ちて、其の中の四板を支へ木Aの上りに貼付ける、即ちDの如



く同じ間隔で付けるのである、其の時注意せねばならぬのは支へ木が腰掛け板の端からだけ隔つて居なければならぬ事である。それから残りの四

板を前と同じ方法でEに附着する。

第三十一圖 ぶらんこ(其の一)



隣寸棒長 $4\frac{1}{2}''$ のを二本と $1\frac{1}{8}''$ のを二本切りてAの

つた譯である。次に $1\frac{1}{8}''$ の隣寸棒を二本造りてDの

如く附着し、別にBなる $1\frac{1}{8}''$ のを四本造り其の兩端を削りてCに嵌める。是で兩側の柱だけは出來上

如く兩側の臺に取付け、それからその一本造りてEの位置に固着する。今度は平板をFの寸法によりて裁ち其の四隅を落して腰掛けと成し、兩端から隔て、孔を穿ち、此の孔に糸を通して、糸の兩端は上部の横木に結び付けるのである。

腰掛けが左右に之つたりなんすかると都合が悪
いから裏面に膠を少し付けて糸が之らない様にす
るが宜しい。無論關節には全部留針を打ち込むが
よろしい。

汽車の中

○空氣枕

六つ許りの兒、お父さんの空氣枕を顔りにふくらませて居たが、やがてそれを枕にころりと寝た。子供の寝いるのも早いが空氣のぬけるのも早い。栓のしない空氣枕はすぐべたんこになつた。お父さんは笑つて見て居たが、腰掛にひざまづいて、枕の栓の處に口をあてた。枕がだん／＼ふくれて来る。子供の頭がだん／＼あがつて来る。お父さんは随分くたびれて栓をねぢつた。子供はすやくと眠て居る。——丁度、なんにも白河の驛の附近のこと。

○トンネル遊び

『アラ日が暮れた／＼』

『あゝ夜があげた／＼』

可愛らしいおぎげの姉妹と、小さい白洋服の弟と、汽車がトンネルを出入りする毎に聲をあはせてはばや／＼やいで居る。成人客には鬱陶しい箱根越えも斯うして面白い遊びにまぎれて、いつの間にか過ぎてしまつた。

弟はつまらなそうな顔で

『もう夜にならないの？』

△御注意

會員諸君にて御轉任御轉居等、雜誌送りさきに變更を生ぜられた時は、必ず至急の御一報を願ひます。不着延着等が屢々起つて困りますから念の爲め御注意申上げて置きます。尙ほ又、雜誌不着等のことがありました節は、其の月に直に御一報下さる様願ひます。

ゴルドン女史著
菅原教造譯述

美學講話

全十八講

『婦人と子ども』附録

第一講 入門

第二講 心像の話

第三講 感情の話

第四講 藝術の起原と職分

第五講 リズムの話

第六講 舞踊の話

第七講 音楽の話

第八講 色彩の話

第九講 線と形の話

第十講 圖案の話

第十一講 建築の話

第十二講 彫刻の話

第十三講 繪畫の話

第十四講 言語の話

第十五講 詩の話

第十六講 戯曲の話

第十七講 散文の話

第十八講 美と藝術

第九講 線と形の話

目次

線の實體性質及び特徴——垂直線——水平線——對角線——縞——三角・角錐及び通景——正方形——長方形——曲線
——圓周及び弧——蛇線——一般學說との係關

線の實體・性質及び特徴 數學的に云へば

線には實體又は性質と云ふものがなく、唯長さや方向があるだけであります。然し藝術上の目的に對しては、線は更に實體的の者であり、且其の性質は重要な研究課題となります。スケッチの場合

には、線の性質、たとへば廣狹・明暗・粗澁・平滑など云ふものには、描かれた物の地合を示させる事も出來ます。即ち織麗な灰色の線は地合の優雅を表はし、織麗な黒線は精確と硬直とを表はします。又廣い荒つばい線は粗豪堅實を現はします、従つて百姓の粗服、木靴、又は草葺きの小屋か、裏

庭の垣などの見える所をうつすに都合が好いのであります。それから廣い黒線は明確と獨立の特徴を持つて居ります。

線の質よりも更に大切なのは線の方向と直線曲線と云ふが如き、線の特徴であります。次に最も簡単な抽象的の線は、何物をも描寫して居なくとも、或情的効果と、それ自身としての意味とがあるといふことを述べやうと思ひます。

垂直線 眞直と直立とは殆ど同じものに見られて居ります。此の事實と、垂直線の起させる情調とは、一部分は觀念的聯想に依り、又一部分は斯様

云ふ線が刺戟する運動的反應に依て説明が出来ます。直立線と關聯して居る觀念的要素の中には、塔や柱がはいつて居ります。塔は昔は戰時の砦及要害であり、柱は建築物の最も顯著な支障物でありました。爲に塔と柱とは、力と頼りになる者の象徴又は隱諭になつたのであります。又人の直立の姿勢と、勇氣や徳との間には、慣例的な關係があります。垂直線を人の形に使ひますと、禁欲主義者の縮形を暗示することもあれば、亦將に活躍せんとする運動家の力の籠つた様子を示すともあります。今一つ重要な垂直線との聯想は、宗教上の崇敬を表はす時に出て參ります。これはさう云ふ場合には、必ず神と信者との間に空間的な關係があるからで、神は普通上方に住む者と思はれて居るので、信者は實際神を仰ぎ見ます。斯様にして敬虔及靈的「歡喜」の心持と、直立線との關係が生じたのであります。斯う云ふ事を考へて見ますと、垂直線に對する感じを決める本になる聯想が分つて來ます。

垂直線を見て直ぐ起る運動的反應は、上から下へ遣る眼の運動と、自分を細長い形に引き延ばさうとする身體全體の摸倣的傾向とから成つて居ります。是は當然注意の態度であつて、嚴肅では有りませんが、不平衡でも無く、又見供ないこともありません。この身體の姿勢から來る感じは、其の線に對する感じを決めると云ふより、寧ろ線の感じそれ自身であります。かういふ經驗を基礎として出來た學説は、なほ後に述べませう。

直立線の中には、人に依ては曲線の美よりよるこぶ様な峻嚴な端正の美があります。直線は濫用するときごちないものが出來ますが、これを適度に使へば、簡素・僭健・生氣を興へる事が出來ます。建築などはジョットーの塔の大きな垂直線が有名であり、彫像では希臘の勇士テューサーの弓を引いて居る所の如きは、思ひ切つて強い垂直線を使つてあります。繪畫ではベックリンの「死の鳥」に長い垂直線を使つて、非常な威嚴と高越の感じと

を添へて居ります。バーン・ジョーンズは垂直線を利用して其の繪に建築的效果と禁欲の調子を表はして居ります。

水平線

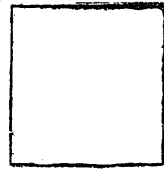
水平線は静けさと纏まりを代表する線で、横臥と静平と弛緩とを強く暗示して居ります。海及平原の水平線は、常に遠隔の想ひを起させ、長く廣がつた平地は、其時の氣分に依ては、人に忍耐と、地球の低さ詰まらなさを感じさせます。此第二の場合は、悲創な迷想ではありませんが、併し悲創な迷想は、自然現象に對する時起る情緒を、人に自ら知らしめるものであります。此觀念的要素に加へて、長い單調な水平線には、どこか催眠的な處があります。水平線には、眼を上へ向ける用も下へ向ける用もなく、眼の運動の中で一等樂な、一方から今一方へ眼を走らせる運動の外、何にもしないで済みます。かう云ふ線の効果は、バーン・ジョーンズの繪の中に非常によく出て居ります。「眠れる美姬」の中には、前景の石疊も、後方の

掛幕にも、女王の寝椅子にも、王の玉坐にも、長い水平線が使つて有ります。亦横になつて居る人達の姿も、繪全體に亘つてリズム的な起伏を描くために、線が色々ではありませんが（此繪は小壁の圖案）一體に廣い水平線を成して居り、魔睡の状態が完全に現はれて居ります。「妖姬サースの酒」と云ふ同じジョーンズの繪でも、水平線が重だつた線になつて居り、全體の繪の輪廓は、低い長方形であります。低く身を屈めて腕を差し出して居る魔姬の姿、動物どもの背部、海の水平線が透いて見える低い窓の扉、是等が一樣にどうとも爲やうのない倦怠の心持と、恍惚として睡を催す様な魅力とを助成して居ります。

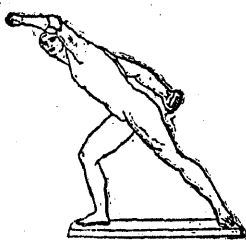
對角線

對角線に對しては、注意が一點にとゞまらず、上から下へ、又は下から上へ急速に動きますから、之は活動の線で有ります。激しい運動の場合たとへば競争・船漕ぎ・伐木・重荷を引く等の仕事は、身體を斜線様に致させます。對角

線を見ますと、斯うした記憶が臆ろ氣に浮んで参ります。又斯様云ふ線は、線自身として不安定に



も見え、思ひ切て其の線の形を眞似やうとすれば身體が平均を失ひます。斜線はかやうに、水平線の安定は無論、及垂直線位の安定すらも缺いて居つて、重量の不等な時の天秤の兩端に似て居ります。この圖の正方形の方は、活動若くは運動とを暗示する三角形よりも、確りとして居て受け身であります。對角線は、單獨では其位置が餘り不安定で



充分な効果を收める事が出來ないので、藝術製作の場合には、對角線の活動的な性質を保存して、其の場合をとる爲めには、外の要素を使ひます。此の圖のポルゲーズの戰士の形でも

思ひ切つた斜線が、右足と右腕の位置は價はれて確りとなつて居ります。

人物畫の場合には、體を斜にして足を前に踏み出し、かけ衣かぎが後の方へなびいて居る様に描いて、運動を表はすのが並みの遣り方でありますが、亦其形が、實際動いて居る様には見せずに、運動を示すことも出來ます。其適例はピッツブルグ博物館



の壁畫で、アレクサンダーがいろ／＼の挿話を繪にして澤山描出致しました。其等の繪畫中の活動の感じは、多く鋼鐵の梁の長い斜線と火から發する長い光線とから出て居ります。

今一つの例は、此の圖に示したロダンの「愛の飛去」であります。これでは婦人は坐つて思ひに耽つて居るのではなく、勢よく彈ねて居る對角線が、如何にもよく別離の感情を表はして居

ります。パッラー女史の古名家の面白い研究中には、斜線・V字型の構圖は、これなくては靜かに過ぎ沈み過ぎる繪に、勢を添へんがために用られて居ると申してあります。

主要な三種の直線の性質に就ては、上に申しましたから、これから簡單な形、又は直線の配合に就て申しませう。

竊 同一方向に走つて居る縦竊なり横竊なり許りの模様は、最も強い又最も簡單な模様であります。ラスキンは、之は整列に適して居るといふ説で、色を「帶狀雲狀及火陷狀」の如き簡單な形に用ゐる時のみ、其の美が十分に發揮されると云つて居ります。西班牙及伊太利の寺院には、外面を白と黒とのだんだらの竊にしたもの、フロレンスの寺院の様に淡紅色と白との竊もあります。竊で色を出すのは、建築に有利なばかりではなく、繪畫にも有效であります。普通の色の用法は、描いた形をまとめる爲めに支配されるには及ばず、畫

家の選擇次第で、竊なり圓なり何なりして關ひま

せん。ホイッスラーの船の繪は、水平線の配置の好例で、この場合は黒と黄とのだんだらであります。線の幅と集め方とを變へれば、竊にもいろ／＼の變化が出來ます。此の圖は其中の三種許りを表はして居ります。

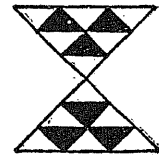
三角・角錐及通景 ピラミッド・ケイスク 三角は邊

に圍まれた形の中で、最も簡單なものであります。其の對角線と銳角とは、きつかりした勢の好い鋭い特徴を成して居ります。次の頁の圖は三角を重ねたもので、よく粗氈に見る模様であります。此三角で全面に活氣が添へられて居るのであります。

底邊の上に立つて居る二等邊三角形は、對勢的平衡を代表して居ります。頂點に集中する邊は、其の方向に人の注意を惹き、且統一ある活動を感



じさせます。藝術上の三角形の用法の例は、建築でピラミッド、及寺院の破風等に顯著であります。



繪畫と圖案に於ては、三角形は統一の原則となりて居ります。風景畫で列樹なみきを示す時に用ゐる通景ツイタテは注意を集中し且其の中に聯關して

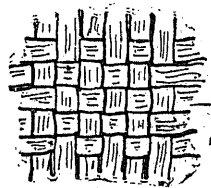
在る部分を統一するに有效な事は、パッフォー女史の指摘して居る通りであります。其の論に「宗教畫」殊に玉座の聖母を描いた神壇背後の繪に於ては、圖形はピラミッド又は三角形に近く、聖母の頭は大抵ピラミッドの頂點になつて居ります。廣い底邊と頂點との對照は、堅固及安靜の感じを起させるものであります。又繪の中心より上に眼をつけやうとする傾向は、直ちに敬虔・崇拜等を伴ふ氣分を誘致すると考へても差支は無い様であります。斯くしてピラミッド形は、二つの目的を達するものであります。第一には統一を與ふる事、第二にはその形の特異に依つて、繪の題目にふさ

はしい情調を誘致する事であります。

正方形

邊の上に立つて居る正方形は、堅

固と力との印象を與へ、素朴で且つ剛健であります。これは圓や正多角形程集中的ではありませんが、線の直正と構造の簡單とのために、それらより一層原始な粗豪なものに見えます。正方形の反復もしくは格子縞は、裝飾の形の中、最も古いそ



して最もありふれたものであります。これは多分此の圖の様な織物の模様から來たものでありませう。反復的正方形は、凡ての格子模様の基礎で、色、幅及

び入れちがひになる位置の集合をいろ／＼にすれば、面白い變化を澤山作る事が出來ます。正方形に關する主な模様は希臘の物の縁かぢによく使はれて居る卍形、鍵形、及東洋風の粗氈かまがねによく出て來る饌かまがねの模様であります。繪畫に於ては、正方形は三角形程統一的な集合になつて居りませんが、彫刻

及建築に於ては、正方形及立方形が大切な形であるとして云ふ事は後に説きます。

長方形 長方形は窓扉・繪の枠・本・鏡板・

粗氈等の輪廓として、雖でも見馴れて居ります。

正方形から殆ど縞又は線としか見えぬ位の細長い矩形に至るまでのいろいろな割合があり、其の多くの形の形の中で、特に釣合の好い感じを起させるのがあります。澤山の中で特に氣に入るのがあるか、あるとすればどれであるかを知るのは面白いことで、これは始めて系統的に實驗された問題でありますから、美學史上特筆に價するのであります。

ツァイズリンクは十九世紀の中頃に、凡ての律中黄金律を最美のものとして致しました。同氏は最も完全なる變化中の統一が、この律に表はれてゐるのを發見し、且これを廣く自然的形及藝術的形の標準に適用しやうと致しました。黄金律とは、小さな部分の大なる部分に對する割合は大なる部分の

全體に對する割合に等しいと云ふ全體の分け方でありませう。即ち $a:b = b:(a+b)$ 又は $b^2 = a^2$ であります。

フェヒネルは此の黄金律の快さを試めす爲めに、圖を幾組も揃へて實驗をしました。試験の中には割合の異なる矩形を十個比較させるのもありました。其の形の律は、

$1/1: 6/5: 5/4: 4/3: 29/20: 3/2: 34/21: 23/13: 2/1: 5/2$

以上の形を不秩序に散らしておいて、被験者に最上のと最劣のを選ばせました所が、 $34/21$ 即ち黄金律が最も多く最上とせられ。 $3/2$ 及び $23/13$ が其次で、最劣は $6/5$ でありました。併しフェヒネルが長方形の最上の比を他の簡單な形に應用して見た所が、最上の比とは云へなかつた事は、一寸附言する必要があります。

具體的藝術品に於ては、矩形の場合ですら、黄金律が最上の比であるときまつては居りません。如何となれば、全體として圖案に對する任務と附隨する他の形狀との爲めに、非常に制肘されるか

らであります。

曲線

水平線を穩和と云ひ、垂直線を野心的を云つた佛國の美學者シュリーは、曲線を逸樂的と呼んで居ります。曲線は一般に直線よりも美とされて居ります。これには或直線の様な峻嚴な所が無く、優美でしなやかであります。起伏のある水平線は、眞直なのよりもんびりして居り、些かうねつた上向線は、眞の垂直線ほど嚴正な固いものではありません、心持のよい曲線も澤山あります、こゝには立つたものについてだけお話し致しませう。

圓周及弧

圓は完全の象徴であつて、充滿と終了の印象を興へます。此の爲めに藝術製作の要素に使ふにはむづかしいのであります。ラスキンは圓は曲線中、最も美の劣るものとして居ります。廻れば元に還る外ない曲線より、外へ出て何かと織り交る曲線の方が有効であります。バーン・ジョーンズの繪畫「創造の日」に於ては、世界の圓線は

殆ど完全な輪廓で、圖の注意の焦點となつて居りますが、其爲めに全體が引立つ程の効果はありません。此の連續的な曲線は餘り單獨で外の線にも及ぼしませぬ。斯様に完全な圓線は、圖案の眞中におくと面白く無い代り、境界線もしくは統轄線としては有効であります。ポッチェリは圓を繪の完全な形とし、其の繪畫の中には、圓線が作全體を制限してゐるのもあります。繪畫構成上の圓型とは、其の集合が全體として、ざつとした圓を成して居る（斯うして統一が出來ます）ものと云ふのであります。尤も中に描かれた形像の線は、圓と非常にちがつて居ることもあります。

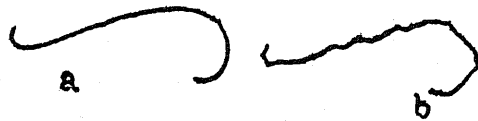
弧線若くは新月形の線は、完結を暗示しては居りますが、圓線の様な固い完全の感じではありません。建築に於ては、半圓線は視界の上部限界として、最もよく用ゐられます。半圓は建物の内部に包れて空間の纏まりをよくし、又外側から云へば、穹窿の弓なりの線は建物を申分なく完備させ

て居る様に見えます。尖頂の半圓は、圓い半圓の満全と纏まりとを幾分保ち乍ら、上方に尖がつてゐるために宗教的向上心も暗示して、圓い半圓と三角形との効果を共に收めたものであります。これはゴシック風の建築の特徴たる美であります。

圓線と關聯した重要な形は、螺旋形及放射形であります。此うち螺旋形の方は集中力に於て勝り、放射形の方は自由の點に於て勝さつて居ります。「其の知覺及表出が、特に圖案製作に活氣を添へる原則以外にも、原則があると云へるものならば、それは即ち此の放射線の原則である」とクレーンは云つて居ります。

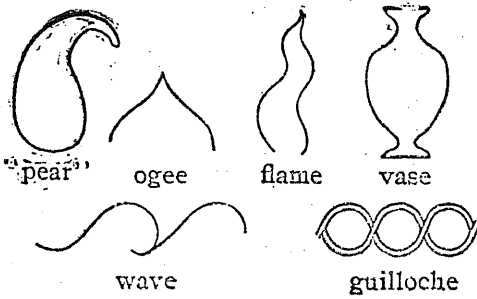
蛇線　　ホガースは最も完全な「優美なる線」は蛇狀若くは波形の幾分S字形の様な線であると申しました。彼の説の通り、方向の多様なことは確に此の美を成す重要な要素であります。何故下段の圖のaがより快いか、何故蛇狀の線は好かれるかといふ理由に對する説明がいろいろありま

す。以前行はれた説明はaを追ふていく時は、眼



は平坦な一貫した道を行くに過ぎぬ。然るにrの場合には粗いさざざした道を過ぎねばならぬ而してrの時よりもaの時の様な運動の方が快いからであると云ふのであります。即ち眼の運動の安易が、快感の根抵と看做されて居つたのであります。然しストラットンの實驗で、此説は破られました。彼は滑な蛇狀の曲

線を追ふ時の被験者の眼の運動を、寫真板に記した結果、さういふ眼の運動は、決して滑らかな一貫した性質のものでは無く、事實醜いさざざな線を追ふ時の眼の運動との間に、根本的な差異は無いのが分かりました。此事實は、眼の運動は美的鑑賞の根抵とするに足らぬ事を證明して居りま



す。又我々は殆ど眼を動かさずに曲線を観る事も、それを判断することも出来るとも云へます。併し眼球運動は快感の根源であるとは云へぬまでも、僭曲線は身體の外の部分に、滑らかな安易な運動を暗示するものだと云へます。少くとも我々は、手足や頭や腹や足を蛇状に動かして見て、斯う云ふ運動の方が經濟的でもあれば力も籠もりやさしくもなるのを經驗することは出来ませう。さう云ふ運動の記憶、及半ば無意識的なさういふ運動を、蛇状の線に對する美的鑑賞の基礎であらうと假定しても宜さうに思ひます。

波状の線を表はして居る形式的傳來の模様の中には、波斯の敷物

によく見る河流輪又は梨(pear)の模様も、鳩胸剗形(ogee)の半圓、在り來りの波(wave)、火炎(Flame)、繩形裝飾(guilloche)、希臘の花瓶(vase)等もあります。

一般學說との關係 視覺對象に留意して居

る間、觀照者のする運動については、前にも申しましたが、重ねて云へばかういふものを見る時には、人は或意味に於ては其の對象を真似るとも再現するとも云へる態度又は身振りをする傾があります。此傾向をグロースは「同情的再現」又は「內的摸倣」と呼び、リップスは對象への「感情移入」と呼んで之を美的鑑賞の基礎として居ります。上には簡單な線に反應する運動のみに就て述べましたが、此說の正鵠を得てゐることを一層よく知らんが爲には、もつと複雑な視覺對象に對する態度の詳細について、考へる必要があります。リーとトムブソンとが對勢の瓶を觀察して得た内省の記録は其の適例であります。

「此の瓶を見て居ると、一つの纏まつた全體と云ふ特種な感じを得る。身體的感覚は、非常におちついて平均して、各種が相聯關してゐる。眼が瓶の底に据はると、先づ兩足かピッタリ大地を踏み据える。次に自分の身體を舉げ起こす様にして、瓶の胴の取つ手に伴ふ。又頭を稍や下方へ抑さへつける様にして、瓶の頂の廣い邊の下壓的なのを感ずる。其間に瓶の平等な兩邊は、左右の肺の運動を平等にし、瓶の兩邊の外側の曲線は、眼が瓶の最廣部に動いて行くと同時に、息を吸ひ込ませる。次に呼吸が始まつて眼が内側の曲線に添うて行ふ間、肺は靜かに潰崩する様に思はれる。やがて眼が頸部の細い所に達して、頂の廣がりまで傳はると、又短かい吸氣を起す。のみならず瓶の形が均衡の運動を起させて、左の曲線は左足に、右の曲線は右足に、變化を起させる。眼が此の瓶を見ると共に、完全な且平等にゆき渡つた身體の調整が行はれた。此の吾々自身の中に於ける運動の總計

と運動の和合とが、此瓶に調和せる一完全體であると云ふ智的事實となるのである」

先づ感覺刺戟があつて、次に本能的な身體の反應が起り、其の反應の「感じ」を對象に對する美的の「感じ」と斷するのでありますから、此の説は徹頭徹尾ジェームスの情緒説と符合して居ります。

又これは彼の衝動の衝突又は不同を必要としたデューエーの説の要點とも、よく合つて居ります。如何となれば、平均せる兩側は、相反せる方向への運動と刺戟します。そしてかう云ふ駁雜の分子が無ければ、情緒的感奮の如きものはまるで得られない筈がないからであります。

今述べました様な内省的研究に添へて、斯う云ふ生理的反應を實驗して得た報告があれば、此上もなく面白からうと思ひます。眼球運動の撮影は色々な形を見たり考へたりする時行はれる運動の比較研究まで及ぼし得る重要な手段であります。尤もさう云ふ試みは、今日までは成功して居りま

せんが、身體各部の無意識的運動、及び全體としての身體の運動等は、記録するも出來ますし、此問題に光明を點するものでありませう。ジャスト

ロッフは、無意識運動をいろいろ研究した結果、實際官能に提供されるなり、單なる想像に留まるなり、兎に角與へられ居る對象について考へる人は、

其の對象の方向若くは想像裡の方向に向かつて運動を始めるのが分かりました。飽迄ちつとして居やうとしても、猶被験者は其の注意を惹く事物の方に手・首・又は全身を動かすのであります。同氏は或實驗に就て次の如くに云つて居ります。——

「メトロノームの音を數へさせておく中、それを室の一方の角から次へくと移して行つた處が、被験者の手はひとりでにその方向を追ふて殆ど完全な正方形を記した」と。これに依て垂直線・水平線・螺線等に伴ふ各個有のひとりでの又恐らく無意識の運動を發見することが出來ませう。斯う云ふ運動の研究と共に、各種の線及形の觀察に、隨

伴する呼吸及心臟鼓動の各種の型と律とを考究する事が出來ませう。


兒 童 研 究

社會の改善も、人類の向上も、文明の進歩も、國家の發展も、詮じつむれば、ただ善良の兒童を得るにありと言ふことにならる。兒童を愛する國は興り、兒童を顧みざる國は亡ぶ、これは千古萬古變ることなき箴言である。兒童の研究は、ひとり教育家や、醫家に一任して置くべきものではない。世の父兄自ら研究すべき筈のものである。兒童の研究は即ち我を愛し、家を愛し、國を愛し、人類を愛することになる。兒童のために最善を謀らざる家庭は、決して幸福を望むことは出來ぬ。我儕は何人も兒童の研究に興味を持たれんことを切に希望してやまないのである。

○會費半箇年分金九十錢 同一箇年分一圓八十錢○兒童研究は毎月一回二十五日發行○會員には無代頒布○見本金十五錢

東京市本郷區千駄木町五十番地

日 本 兒 童 學 會



日本玩具研究會の事務所も附設相成候間此の際奮て御入會被下度入會
金も不要大改革の好時期に御座候(御申込次第規則書送る)


新築落成に付左記の處へ移轉仕
候間不相變御引立の程願上候

麴町區三番町六番地

幼稚園用品商 フレール館

(九段招魂社の南入口前電車通)

電話番町二九〇九
振替東京一九六四〇



三階に陳列室も有之幾分御参考品も可有之と存候間九段邊へ御序の節
は是非御立寄願上候不相變店員一同獻身的に日夜研究罷在候